

経営比較分析表

北海道 豊浦町

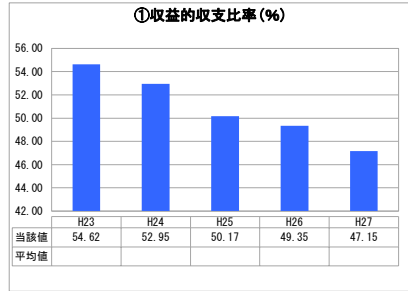
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	67.00	87.45	3,080

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
4,262	233.57	18.25
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,820	1.91	1,476.44

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成27年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



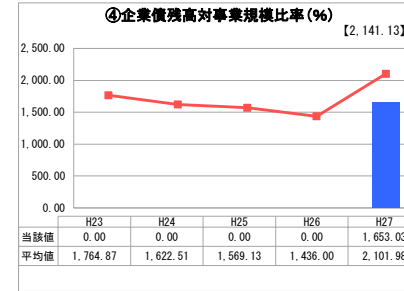
「単年度の収支」



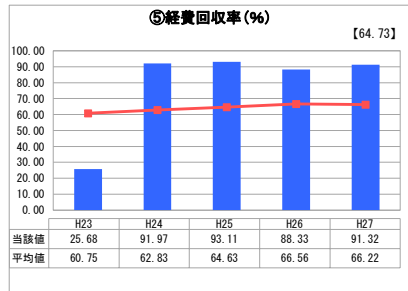
「累積欠損」



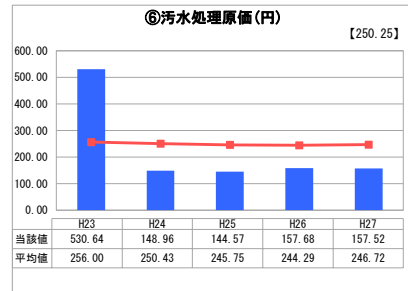
「支払能力」



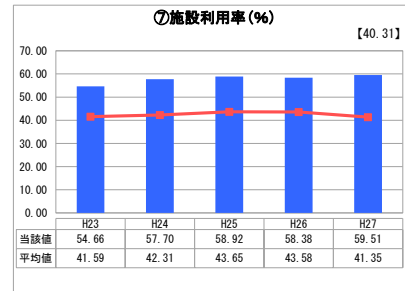
「債務残高」



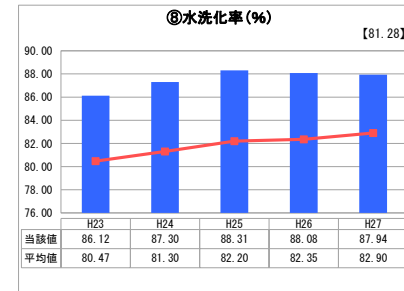
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

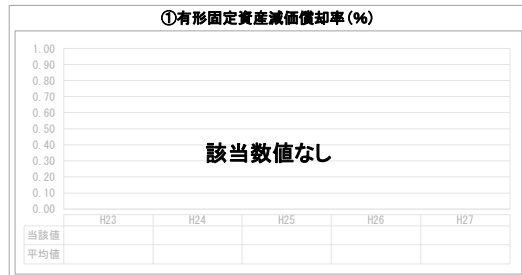


「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

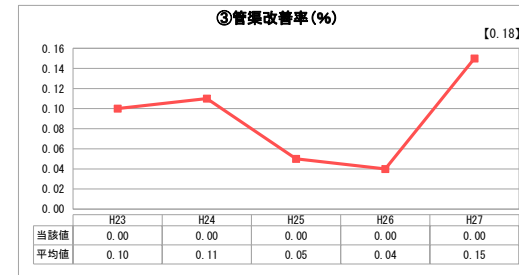
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析概

1. 経営の健全性・効率性について

営業費用は料金収入でほぼ補っているが、それ以外は繰入金に依存しており、年々収益的収支比率が低く推移していることから、平成29年度から料金改定を実施予定である。
また、汚水処理原価と施設利用率はほぼ横ばい傾向で推移しており、経費回収率も9割であるが、更なる経費節減と効率的な運営に努めていく。

2. 老朽化の状況について

処理施設に対しての更新事業はほぼ終了し、今後は必要に応じて管路施設の更新を実施していく。

全体総括

料金改定を実施し、より効率的・安定的な経営を図っていく。
今後も更なる水洗化向上、維持管理費等の経費節減に取り組み、効率の良い経営を図っていく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債務高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。